

市議会だより

さかいで

第 122 号

平成19年5月1日
発行 坂出市議会
編集 議会だより編集委員会
TEL 44-5022



世の中に たえてさくらの なかりせば 春の心は のどけからまし (大屋富町 嚴島神社)

3月定例会

新年度予算案を原案どおり可決 —実効ある行財政改革を積極的に推進—

3月定例会は、3月1日から16日までの16日間にわたって開催されました。

今定例会は、開会日に市長より平成19年度の施政方針が示された後、香川県後期高齢者医療広域連合議会議員に東山光徳氏を選出しました。また坂出市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定を初め、平成19年度一般会計、13特別会計及び2事業会計予算案など、上程した35件について審議し、総額209億270万円の一般会計予算案ほか1件を、採決により可決したほかは、異議なく原案のとおり可決しました。

本市は、昭和47年に宇多津町との合併を前向きに考えていたが実現せず、単独路線を選択してきた。しかし、国・県の機関等が縮小し、坂出のまちの活力が低下している感を持つ。

新年度予算をみても、普通交付税が三位一体改革により前年度より減額し、歳入不足を補うため、第二次定員適正化計画を立て将来に過大な負担を残さないようにしている。このように状況の中、「瀬戸内の交流拠点活力とふれあいの坂出」をどのように描こうとしているのか。

私は、かねてから運営が可能なれば、まちの規模、基礎的自治体の規模は小さければ小さい方がよいという考え方を披瀝してきました。

合併によって、例えば本市から国、県あたりの公的な機関がいろいろと消えていく、よそのまちへ移っていく、逆に本市に集約されるものもあるが、数からいえば確かに丸亀市に移っていくものの方が多いかと思います。それは、一時言っていた善通寺も含めた3市8町が合併していくとも

どこかに集約され、それが合併によって本市に集約されたとは、地理的な条件等を見ると思えないわけであり、これは一概に合併のみがなしたわけではないと思っています。

一般の市民の反響で、それとも、合併をして本当に市民の皆さんのが喜んでおられるかどうかということが、市民の方に、いろいろと話を聞いてみると、現段階で、合併して本当によかつたという意見はありません。かえって不便になつた、役所が遠くなつたという不満の方が

耳には入ります。したがつてこの合併の功罪といふものは、世代が一世代変わらないと、本当によかったのか悪いかったのか、また、新しい世代も前のことはわからぬわけですが、生まれたときからなかなか実感として定着はないのではないかと想います。そのまちがどういう姿であるかということがこれから問題になつてくると思います。



【代表質問】同志会

市長の政治姿勢について（単独路線を歩む本市の現状と今後の姿）

答弁：市長

私は、かねてから運営が可

能であれば、まちの規模、基

礎的自治体の規模は小さけれ

ば小さい方がよいという考

一般質問

3月6日及び7日に行われた代表・個人質問では、5名の議員が、新年度の財政運営を初めとした市政運営全般にわたる質問を行い、市長の政治姿勢をただしました。主な内容は次のとおりです。

質問の主な項目（質問順）

《会派代表制》

稻田茂樹（同志会）

- 市長の政治姿勢について（単独路線を歩む本市の現状と今後の姿）
- 協働によるまちづくり
- 消防職員の健康管理について
- 少子化対策について
- 産業振興について（中心市街地の活性化）
- 地球温暖化対策について

《個人制》

松田実（社会民主党議員会）

- 第二次定員適正化計画について
- 戸籍総合システム稼働後の職員配置について
- 後期高齢者医療制度について
- 市立病院のあり方について（亜急性期病床の新設）
- 土石流危険渓流・急傾斜地崩壊危険箇所対策事業の状況について
- 学校施設の防災機能の整備について
- 葛西吉弥（黎明）
- 線引き廃止後の坂出市への効果及び高松市、丸亀市との対比
- 人口問題について
- 商店街の現況の認識とこれまでの施策及び事業について
- 土地開発公社の運営について
- 新しく供用開始した道路が市に与えた経済効果について

○学校教育について（塩飽諸島の歴史的考察）

富岡利昭（日本共産党議員会）

- 格差と貧困の進行に対する見解について
- 新型交付税の影響について
- 本市における雇用実態の民間委託について
- 農林漁業及び中小商工業振興に向けた今後の対策について
- 新教育長が任期中に取り組む重点課題について
- 市立病院について（設立の経緯と今後の運営方針）
- 松成国宏（公明党議員会）
- 高松自動車道の府中湖パーキングエリアをサービスエリアに
- 1,000万円以上の工事を一般競争入札に
- 市道東臨港2号線と市道室町谷内線との関連は
- ファミリー・サポート・センターの充実について
- 子どもに持たせる防犯ブザーについて
- 生活路線バスの見直しについて

○について質問とその答弁を掲載しています。

質問

我が国は、平成17年、出生数が死亡数を下回り、人口減少社会が到来した。合計特殊出生率は1・25と3年続けて1・3を割り込み、超少子化国になつた。この少子化傾向が続くことによる急速な人口減少は、国や社会の存立基盤にかかる問題であり、晩婚化、晚産化の進行、夫婦が持つ子どもの数の減少、これらに加えて未婚化の進行も大きな原因の一つになつている。

本市では、平成17年3月に「坂出市次世代育成支援行動計画」が策定されている。出生率の向上のために、さまざまな施策を組み合わせて総合的に推進する必要があるが、本市の乳幼児の人口動態の状況はどうか。また、新年度予算における新規の少子化対策事業についてはどうか。

答弁：市民部長

本市の乳幼児の人口動態の状況は、住民基本台帳人口における0歳から5歳までの人口を平成18年4月と平成13年4月で比べると、平成13年が3002人に対して平成18年は2765人であり、5年間で237人の減少です。全人口に占める割合も平成



13年が4・94%に対し、平成18年には4・71%と減少傾向です。
新年度予算における新規の取り組み等については、平成16年度に父母その他の保護者が子育ての第一義的責任を有することを基本とした坂出市次世代育成支援行動計画を策定し、その計画に基づき子育て支援を推進しています。新年度は、地域において会員同士が児に関する相互援助活動を行うファミリー・サポート・センター事業を試行的に実施します。この事業は、坂出市次世代育成支援行動計画の目標事業の一つで、核家族化の進行等により仕事と育児を両立できる環境整備に対する関心も高いことから、実施していくます。

13年が4・94%に対し、平成18年には4・71%と減少傾向です。
新年度予算における新規の取り組み等については、平成16年度に父母その他の保護者が子育ての第一義的責任を有することを基本とした坂出市次世代育成支援行動計画を策定し、その計画に基づき子育て支援を推進しています。新年度は、地域において会員同士が児に関する相互援助活動を行うファミリー・サポート・センター事業を試行的に実施します。この事業は、坂出市次世代育成支援行動計画の目標事業の一つで、核家族化の進行等により仕事と育児を両立できる環境整備に対する関心も高いことから、実施していくます。

【個人質問】**市立病院のあり方について（亜急性期病床の新設）****質問**

亜急性期病床は、一般病棟において急性期を脱した方の在宅復帰を目的として、一定の期間支援を行う病室で、効率的かつ密度の高い医療を提供するものとして、急性期治療から、在宅・介護施設等へ円滑な移行をするためのものである。公立病院としての役割を担う市立病院は新年度に6床新設することになっているが、亜急性期病床の入院期間と新設に伴う施設基準は。また、市立病院以外の県内の亜急性期病床の設置状況は。

答弁：市立病院事務局長

亜急性期病床の入院期間は、患者の状態が関係しますが、90日を目安としています。

次に、当院での新設に際し見直しを必要とする主な施設基準は、在宅復帰支援を担当する者が適切に配置されていること、当該病室に係る病室床面積は患者1人につき6・4平方米以上あることです。



亜急性期病床が新設される市立病院



JR坂出駅より市街地を望む

質問

平成8年から16年まで、約150億円を投入して駅周辺プロジェクト事業を終えた。その投資に対し、次のステップを踏み出さなければならぬと思う。駅周辺より輪を広げ、病院、カルチャー施設に近い商業地域での基盤整備に取り組むべきではないか。必ず活力を生み出し、費用対効果は出るものと考えるがいかがか。

答弁：都市建設部長

駅周辺を中心とした基盤整備を計画的に進めることは、よりコンパクトシティ化を進める方策の一つとして有効な手法であることは十分認識しています。現実に民間による開発も一部進んできています。しかし、現在の財政状況の中では、中心市街地での規模の大きい計画を立てられないのも事実です。将来への課題として研究をしていきます。

産業振興について（中心市街地の活性化）

学校施設の防災機能の整備について

質問

災害が発生した場合、学校は地域住民の避難場所であり、防災拠点として緊急時の救援の中心的役割を担っている。そこで教育委員会として救援対策の体制マニュアルを作成し、学校給食場を活用して必要な機材や非常食の確保、非常食の対応のために献立研究や実技研修等を行ってはどうか。また、地震等の災害に備え、食糧等の生活用品を中心とした緊急物資の備蓄を順次全市域に拡大していくといわれているが、備蓄場所、備蓄用品の種類等は。

答弁 : 教育部長

坂出市立小中学校は、災害時における避難場所でもあります、防災計画上重要な役割を担っています。各学校に併設された給食調理場は、通常の場合は、厳しい安全衛生基準により、だれもが自由には使用できません。しかし、自然災害など緊急時においては、避難場所で市民の方々に、緊急用の食事を提供する方法として給食場を活用することも十分検討の余地があると考えられます。災害の発生は、時を選ばず、また災害規模の程度によつても対応が異なりますので、検討に当たつては施



白峰学校給食共同調理場

商店街の現況の認識とこれまでの施策及び事業について

質問

商店街の盛衰は、そまちの将来像を示す大きなかながくどうか、さらに、食料の確保や最低限の安全衛生基準をどのように設定していくかなど、さまざまな検討、研究が必要になつてくると思われます。

設備設備自体が使用可能かどうか、また調理スタッフの陣容が整うかどうか、さらに、食料の確保や最低限の安全衛生基準をどのように設定していくかなど、さまざまな検討、研究が必要になつてくると思われます。

どから、中心市街地の集客力の低下や空き店舗の増加に整つてきているように思われます。

商店街は閉店した店舗が多く、シャッターを下ろし、人通りもまばらになっている。後継する人も見当たらず、住宅に変わつては、アーケードや照明等、共用施設の管理費用も継続されており、住むのも苦労があるようだ。商店街は、常に時代の流れに沿い、新陳代謝を繰り返しながら新しい商店を誘致し、活性化していくものだが、本市の現況は。

を取り巻く環境はよい方向に整つてきているように思われます。

商店街は閉店した店舗が多く、シャッターを下ろし、人通りもまばらになっている。後継する人も見当たらず、住宅に変わつては、アーケードや照明等、共用施設の管理費用も継続されており、住むのも苦労があるようだ。商店街は、常に時代の流れに沿い、新陳代謝を繰り返しながら新しい商店を誘致し、活性化していくものだが、本市の現況は。

答弁 : 環境経済部長

近年、生活様式の変化な

企画で、活性化に向けた独自事業が実施されました。平成19年度では、この期間の延長など事業規模を拡大するようにも聞いています。市としても、その効果に期待しているところです。

また、ここ数年では、商店街に隣接したマンショングループも建設されるなど、商店街



空き店舗が目立つ商店街

新しく供用開始した道路が市に与えた経済効果について

新しく供用開始した道路が市に与えた経済効果について

質問

松浦市長になつて道路面の整備が進み、新しい道路が供用された。しかし、地元商店街は客足が途絶え、業績が悪化している。商業地の開発と道路網の整備は、双方の調和を図りながら進めるべきである。この趣旨を踏まえ、西港線、駅前通り、市役所前道路等、予想通過台数、

商店街の経済効果、鉄道高架の側道、駅南の東西線、その経済効果と予想車両数を説明せよ。

答弁 : 都市建設部長

道路は活力あるまちづくりにとって必要不可欠な社会基盤であり、居住環境の改善、安心安心の環境整備、時間短縮による経済効果、

近隣地域に与える経済効果、地域の活性化による経済効果等々、非常に広範にわたるもので。主要幹線道路の通行車両予想台数は、坂出西港線500台、県道坂出停車場線89台、福江東浜線310台、坂出宇多津線340台、駒止谷内線520台となっています。

答弁 市長
景気は、小泉内閣が誕生する直前、バブルがはじけてから非常に落ち込んでいきました。そうなると、どうしても

ワーキングプア

仕事には就くものの低賃金を余儀なくされる層。

確かに就労はしているのだが、生活保護の水準以下の収入しか得られない社会層。

か、パーセントで示せ。
2000年と2006年対比で大まかな所得区分でどのように変化をしてきているのか。

市民からこの間、生活苦の声が寄せられている。市長は今日の格差と貧困の進行についてどのように考えているのか。

市民の暮らしは、政府の景気回復のかけ声とはほど遠く、特に貧困と格差があります深刻になってきており、必死に働いても貧困から抜け出せないワーキングプアの発生や少子高齢化のもとで、特に高齢者世帯における低額な年金だけの世帯など、多くの市民からこの間、生活苦の声が寄せられている。

労働市場は厳しくなり、景気の底上げをしなければなりません。景気が回復して、企業活動が活発になりますと、今度は労働市場が逆転して、だんだん優秀な人材を企業が集めにくくなっています。労働賃金は、上がってきますから、そういうような流れを通り、格差、貧困の問題は解決していくかなければならぬと思います。

本市の所得階層別比率（総務部長答弁より）

所得区分	全体に占める比率(%)		増減(%)
	平成12年度	平成18年度	
1000万円以上	8.20	7.71	△0.49
500万円以上1000万円未満	9.46	7.32	△2.14
300万円以上500万円未満	25.12	23.53	△1.59
100万円以上300万円未満	39.82	42.26	2.44
100万円未満	17.40	19.18	1.78



では。本市においても、本当に地場産業の振興に力を入れていただくとなれば、視点を変え、また現在の職員体制も大きく見直して取り組む必要があるの

り、今日全国的にも地方自治体が地場産業振興のための取り組みに力を入れてきているのも特徴である。

つく基本計画の中に、地産地消が位置づけられているが、これら実現の具体化を図つた

り、今日全国的にも地方自治体が地場産業振興のための取り組みに力を入れてきているのも特徴である。

農業、商業の分野は、

高齢化と国の対策により、今後、大変厳しい状態に置かれている。行政の支援によつては現状を開拓して新たな可能性を秘めた分野である。市として、定年退職者が事業を引継ぐ決断のしやすい政策を打ち出すべきではないか。

農業、商業の分野における

後継者育成に向けた施策について、農業の分野では、坂出市地域担い手育成総合支援協議会を設け、認定農業者の育成、集落営農組織の育成、担い手育成加速化などの事業に取り組んでいます。

農林水産業及び商工業は、



坂出商工会館(坂出商工会議所は5階)



JA坂出ふれあい産直市(府中町)

は、JA及び商工会議所との連携を密にしながら取り組みます。後継者育成などについては、JA及び商工会議所との連携を密にしながら取り組みます。

は、JA及び商工会議所との連携を密にしながら取り組みます。JAは、JA及び商工会議所との連携を密にしながら取り組みます。

農業、商業の分野は、

農林水産業及び商工業は、

農業、商業の分野における

格差と貧困の進行に対する見解について

農林漁業及び中小商工業振興に向けた今後の対策について

質問

市民の暮らしは、政府

労働市場は厳しくなり、景気の底上げをしなければなりません。景気が回復して、企業活動が活発になりますと、今度は労働市場が逆転して、だんだん優秀な人材を企業が集めにくくなっています。労働賃金は、上がってきますから、そういうような流れを通じて、格差、貧困の問題は解決していかなければならぬと思います。

農業、商業の分野は、

農業、商業の分野における

農林水産業及び商工業は、

農業、商業の分野における

農業、商業の分野における

農業、商業の分野における

農業、商業の分野における

質問

農業、商業の分野は、

労働市場は厳しくなり、景気の底上げをしなければなりません。景気が回復して、企業活動が活発になりますと、今度は労働市場が逆転して、だんだん優秀な人材を企業が集めにくくなっています。労働賃金は、上がってきますから、そういうような流れを通じて、格差、貧困の問題は解決していかなければならぬと思います。

農業、商業の分野は、

農業、商業の分野における

1000万円以上の工事を一般競争入札に

質問 昨年末は、国や地方自治体が発注する公共工事などをめぐる官製談合事件が、各地で摘発された。談合防止には、徹底した情報公開と入札制度改革が大事である。本市では、ホームページ等で入札状況を全面公開するなど、透明化に力を入れている。47都道府県に行つたアンケートによれば、1000万円以上の工事の一般競争入札を行つたところ、落札額が約20パーセント程度低くなつた結果が出

ているが、市発注の入札に対する見解は。

答弁 助役

本市では、現在設計金額が5億円以上の建設工事について一般競争入札を実施しています。また、設計金額が100万円以上、5億円未満の建設工事については、指名競争入札を実施しています。

昨今の入札談合事件を受け、全国の地方公共団体では入札制度の見直しが急速に進

められています。本市においても、入札方法について、透明性、公平性、競争性のよ

り一層の確保を図るため、現在関係各課とも協議、検討をしています。

一般競争入札を拡大した場合の検討課題としては、不良、不適格業者の排除、品質の確保また地元企業の育成に配慮した地域要件があります。これらの諸課題の解消を図り、入札方法の見直しが決定次第、議会に報告します。

議案質疑

質問 学校教育充実の中で、確かに学力育成と豊かな心の涵養を図るとともに、スクールカウンセラー派遣事業や不登校対策教育支援センターを

積極的に活用し、児童生徒が安心して学習できる環境づくりに取り組むとあるが、その中身はどのようなものか。

また図書館では、生涯学習の充実で暮らしを支えるためのコーナーを新設するとあるが、具体的にはどうすることをしていくのか。

答弁 : 学校教育課長

などを十分説明した上で、子どもの安全確保のために活用させていただきたいと考えています。

答弁 : 学校教育課長

スクールカウンセラー派遣事業は、本市では坂出中学校、東部中学校、白峰中学校及び瀬居中学校の4校に臨床心理士などの資格を持つ相談員を週1回から2回、派遣して、教職員と連携しつつ、悩みや心配事を抱えている児童生徒、保護者を対象に相談活動を行う事業です。

答弁 : 図書館長

暮らしを支えるコーナーの設置については、現在設置している医療保健情報コーナーに加え、市民ができる法律関係図書、具体的には裁判員制度の関連図書など100万円相当、約400冊を購入して、暮らしの支援コーナーを1階のカウンターの北側に設置する予定です。

質問 高齢者福祉の充実の中支援する認知症サポートの養成に取り組むが、予算や人選、資格など、条件は。

目指し、体験活動やスポーツ活動、学習の個別指導、家庭訪問や学校との連絡などを行い、不登校の解消に資する事業です。

現在、坂出中学校と白峰中学校にそれぞれでいいの部屋とふれあいの部屋を設けて、教員の資格を有する専任の教員を配置しています。

暮らしを支えるコーナーの設置の内容については、現在設置している医療保健情報コーナーに加え、市民ができる法律関係図書、具体的には裁判員制度の関連図書など100万円相当、約400冊を購入して、暮らしの支援コーナーを1階のカウンターの北側に設置する予定です。

また、不登校対策教育支援センター設置事業は、不登校児童生徒の学校復帰や自立を



小学1年生に配布される防犯ブザー

子どもに持たせる防犯ブザーについて

子どもの事故が相次いでいる中で、青色回転灯車のパトロールや各種の防犯対策を現在実施しているが、子どもに持たせる防犯ブザーはオーディオ式やひもを引くと大音量が鳴る防犯ブザーなどさまざまな形態があるようだ。

本市では、今、どのようになっているのか、また今後どのようにするつもりか。

この防犯ブザーは、音量120デシベル、全長14センチ、重量30グラムほどのものです。

本市においては、坂出地区防犯協会連合会より市内の小

学校1年生全員に黄色い笛を配布していただいているほか、一部の小学校へは自治会や町民会議等から防犯ブザーが配布されたりして、登下校時の子どもの安全確保のために役立たせていただいています。

また、平成19年度からは四国新聞社が毎年、県内の新小学生を対象に防犯ブザーを配布すると伺っています。

今後、各学校で使い方の指導

答弁 : 教育部長

防犯協会連合会より市内の小



総務消防委員会

教育民生委員會

環境經濟委員會

都市建設委員会

委員会の動き

▼市職員の給与条例の一部改正案を了承

▼子育て支援への積極的な取組みを要望

▼地域の伝統文化継承には継続的活動が必要

▼自己水源の確保を今 めた渴水時の対応は

一 昨年の人事院勧告の結果
構造改革に基づき、行政職の給料を平均4・8%引き下げ
るなどの給料表の見直しや、
勤務成績に基づく査定昇給制度の積極的活用を図るため、
昇給区分を設定するなどの市
職員給与条例の一部改正案
の審査で、勤務成績の判断はだれがするのかただしたところ、
まず課長級職員が判断し、
次に部長級職員による調整の
後、助役及び部長級職員で構
成する昇格昇給等判定検討委
員会による検討、判定を経て、
その結果を参考に市長が決定するとの答弁があつた。
さらに、当該判定検討委員
会の年間開催回数をただしたこと、
ところ、今回の改正により、
年1回の昇給時期及び年2回
の勤勉手当支給時、合わせて
3回の開催を予定していると
の答弁があり、審査の結果、
異議なく了承した。

予算の審査過程において、私立保育所6カ所で行っている延長保育を平成21年度に公立保育所1カ所でも行うと次世代育成支援行動計画で目標設定していることに関し、委員より、実施する公立保育所の考え方をたどしたところ、当局からは、市民ニーズは高いが実施していないファミリー・サポート・センター事業や病後児保育事業を中心検討を行つておる、現段階では公立保育所の延長保育は検討していないとの答弁があつた。

これに対し委員より、公立保育所で延長保育を行うには、新たに保育士を確保する必要があり、実施する保育所の選定など、早急な対応を求める要望があつた。

また関連して他の委員により、平成21年度を目標に1カ所の設置に努めるとする病児保育事業についても、市民要望が強いことを認識しているのであれば、早期の事業開始に向け、積極的に取り組むよう要望があつた。

市制施行65周年を記念して作成する坂出小唄等CD作成費について、地域の伝統文化の継承と観光PRへの活用を目的としているとの説明に対し、委員より地域の伝統文化の継承は短期間では効果が上がりないとの考え方を示し、今後の方針について説明を求めたところ、CDを成人式で配布するなど、まずはじんでもらうことから始めていくとの方針が示された。

明半圓橋



認知症サポーターの養成について、対象者の限定は特にありません。認知症サポーターの制度、趣旨に共鳴し、賛同する多くの方に参加していただきたいと考えます。

本市においても平成19年開
からは、本格的に自治会、地
区社協などを中心に市内各地
においてキヤラバン・メイト
を派遣し、一人でも多くのサ
ポーターを養成したいと考え
ています。また、この資格に
ついては、2時間程度の講義
を受けるだけのものであり、
特別な資格はありません。
認知症になつても安心して
暮らせるまちづくり、この認
知症サポートの養成に本格
的に取り組みます。

会議日程

◆3月定例会
 1日 本会議
 (施政方針・提案説明)
 委員会 (議会運営)

2日 ~休会

5日 6日 本会議
 「一般質問 (代表・個人)」
 「一般質問 (個人)」

7日 本会議
 「一般質問 (代表・個人)」
 (議案質疑・委員会付託)
 委員会 (議会運営)
 委員会 (総務・消防)
 委員会 (教育・民生)

8日 本会議
 10日 11日 12日 13日
 委員会 (環境・経済)
 委員会 (都市建設)
 委員会 (委員長報告)
 15日 16日
 本会議 (委員長報告)
 (追加議案提案説明)
 (質疑・討論・採決)
 ~休会

◎香川県後期高齢者医療広域
連合議会議員

東山光徳

**3月定例会で選出
した委員**
(敬称略)



議会を傍聴しましょう!

次の定例会は

6月の予定です

私たちも今期をもつて議席を退くことになります。
 市民皆様のご支援、ご指導を賜り、微力ながらも
 市政発展のため渾身の努力を重ねてまいりました。
 議員生活を省みると、瀬戸大橋の開通を初め、
 鉄道高架事業、都市計画線引きの廃止、駅周辺整
 備事業の完成などさまざまな出来事が走馬灯のご
 とく甦り、万感胸に迫る思いの一言に尽きます。
 本市は今厳しい時期にありますが、将来に過大な負
 担を残さないために、ともに創意工夫し、活力あるま
 ちづくりに取り組むときであると考えております。
 長きにわたりご支援いただいた市民の皆様に対し衷
 心より感謝申し上げます。

山条 真嗣 吉田 忠之
 平田 修一 本多 聰
 香川 良平

勇退議員あいさつ

観察来庁記録

2月
 17日 京都府向日市
 (介護保険制度)
 愛知県西尾市・碧南市
 (119番登録制度)

坂出市公式ホームページ内「坂出市議会」について

☆5月31日まで、議長挨拶・議員名簿・委員会名簿・会派のページを休止します。
 ご了承ください。

☆会議録検索システムで、平成6年以降の定例会と臨時会の本会議の内容を検索
 できます。

☆議会だよりもホームページに掲載、平成15年度発行分よりインターネットで
 ご覧いただけます。

市議会ホームページアドレス <http://www.city.sakaide.lg.jp/gikai/index.htm>

編集後記

議会だより編集委員会
 委員長 村井友信 副委員長
 藤川 亘 吉田忠之 稲田茂樹
 綾 宏 宏

四年に一度めぐりくる市
 議会議員選挙。その直前の
 三月議会の市議会だより編
 集に全力を傾けています。
 しかし残念ながら市民の目
 にふれるのは選挙後の五月
 一日です。
 私の編集の構えは、一
 に公平、二に中立、三、四
 もともに五に真相です。
 議会だよりを通じて行政
 のありのままの姿を市民に
 知ってもらう。そして読後
 感としての市民の市政への
 注文の双方向性が議会だよ
 りの役割だと固く自負して
 います。

年間四回の各議会本会議
 毎に発行される二〇、二〇
 ○部の市議会だより。
 市民の皆様、もっとしつ
 かり読んでください。そして
 どしどし読後感・市政への
 注文をよこしてください。
 (藤川 亘)